

## 日本建築学会・住宅の地方性小委員会通信 No. 09-2 (090802)

主査：碓田 智子／事務局：大阪教育大学・教育学部・教養学科・生活環境講座

TEL&FAX/ 072-978-3603/ e-mail: tusuda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1

ホームページ：日本建築学会 [http : www. aij. or. jp](http://www.aij.or.jp)

→常置研究委員会一覧→建築経済委員会→住宅の地方性小委員会

目次：

1. 仙台大会・研究協議会の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
2. 住宅の地方性・仙台研究会の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
3. 大会時の幹事会・研究協議会打ち合わせ等の案内・・・・・・ 3 ページ
4. 長崎研究会の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ

今年は例年になく梅雨明けが遅いですが、暑さが厳しい中で、それぞれにご多忙中のことと思います。5月の新型インフルエンザによる休講に対応して前期の授業期間が延長された大学等では、ようやく期末試験がなど終わったところでしょうか。

鈴木浩先生（福島大学）から主査交代のあと、はじめての通信となります。これから2年間、ご協力よろしくお願いいたします。

遅くなりましたが、今回は仙台大会での研究協議会および研究会のご案内を中心にお届けします。

### 1. 仙台大会・研究協議会のご案内

今年度の建築学会大会は8月26日（水）～29日（土）に、東北学院大学（仙台）で開催されます。建築社会システム委員会による研究協議会は、住宅の地方性小委員会が提案した「世界金融・経済危機と住宅政策の行方」が下記のように実施されます。

皆さま方のご協力により、充実した資料集ができあがりました。仙台大会にご出席の方は、会場で資料集をお求めの上、研究協議会にご参加ください。

「世界金融・経済危機と住宅政策の行方」

日時：8月27日（木）13:45～17:00

会場：東北学院大学2号館236室

司会：川崎直宏（市浦ハウジング&プランニング）

副司会：長谷川洋（国土技術政策総合研究所）

記録：堀田祐三子（和歌山大学）

—資料集目次—

1. 趣旨説明 世界金融・経済危機と住宅政策の行方／鈴木浩（福島大学）
2. 主題解説
  - (1)住宅所有とグローバリゼーション／平山洋介（神戸大学）
  - (2)アメリカの住宅金融の現状とわが国への示唆／小林正宏（住宅金融支援機構）
  - (3)住宅産業の直面する課題／佐々木宏（住宅生産団体連合）
  - (4)住宅・不動産市場の活性化対策について／長谷川貴彦（国土交通省）
  - (5)わが国の賃貸住宅での証券化を考える／森本信明（近畿大学）

### 3. 寄稿論文（五十音順）

- (1)住宅市場の不安定性と住宅政策／大泉英次（和歌山大学）
- (2)市場重視の住宅政策への転換を改めて問う／川崎直宏（市浦ハウジング&プランニング）
- (3)サブプライムローン問題とアメリカの住宅事情／竹山清明（京都橘大学）
- (4)経済改革と居住不安定／多治見左近（大阪市立大学）
- (5)住宅取得という投資リスクをどう考えるか／田村誠邦（アークブレイン）

### 4. 資料

- (1)アメリカの住宅金融の現状とわが国への示唆／小林正浩（住宅金融支援機構）
- (2)参考資料－住宅・不動産市場の活性化策について／長谷川貴彦（国土交通省）
- (3)日経・日経産業にみる J-REIT・地価・賃貸市場をめぐる最近の報道／森本信明（近畿大）

## 2. 住宅の地方性・仙台研究会のご案内

大会時の研究会は、阿留多伎真人先生と馬場たまき先生（尚絅学院大学）のお世話で、大会前日の午後、下記のように開催することになりました。今回は、1）東北地域の居住政策・住宅事情、2）地域居住政策の展開、の二つのテーマを柱とする研究報告会として実施します。終了後には、恒例の懇親会の席も設けています。多数のご参加をお待ちしています。

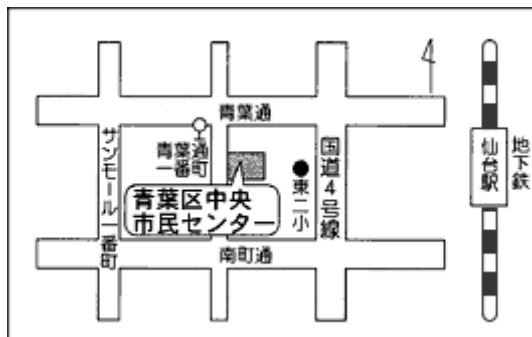
■日時：8月25日（火） 13時30分～17時すぎ（受付：13:10から）

■会場：青葉区中央市民センター・第一会議室

<http://www.stks.city.sendai.jp/hito/WebPages/sisetu/simin/sisetu/aoba01.html>

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番4号 TEL022-223-2516 FAX022-261-3251

市営バス・宮城交通 動物公園・西の平方面行 青葉通り一番町下車 徒歩3分



※仙台駅から徒歩だと10分強です。

■参加費：500円（予定） ※参加費は当日現地で

### ■プログラム

#### I. 研究会（報告のタイトルは現時点での仮題です。多少変更される場合があります。）

##### 1) 東北地域の居住政策・住宅事情

「東北発コンパクトシティと地域居住政策」／鈴木浩先生（福島大学）

「宮城県の住宅政策について」／三浦俊徳氏（宮城県住宅課・技術副参事）

「仙台市の居住政策・住宅事情」／調整中（仙台市役所）

##### 2) 地域居住政策の展開

「平成の大合併が如何に日常生活圏構成を破壊したか——北海道都市地域学会発表

「日常生活圏としての住宅市場圏構成から見た市町村合併に関する一考察」（2007.9）を題材として  
／眞嶋二郎先生（北海道大学名誉教授）

「住宅セーフティネット」／中島明子先生（和洋女子大学）

## II. 懇親会

日時：同日 18時～

会場：河童亭 仙台市青葉区一番町 4-5-3 神永ビル 1～5F

<http://g.sendai2.jp/go103691>

参加費：4500円を予定（当日、会場でお支払いください）

■申し込み方法：研究会・懇親会にご参加の方は、阿留多伎先生までメールをお願いします。

■申し込み締切り：8月17日（月）

※メールタイトル：仙台研究会・懇親会参加申し込み

※送信先：阿留多伎真人先生（尚絅学院大学・生活環境学科） E-mail：[arutaki@shokei.ac.jp](mailto:arutaki@shokei.ac.jp)

電話 022-381-3364

※下記をメール本文に貼り付けて、お送りください。

研究会：参加 ・ 不参加 ←どちらかを消してください

懇親会：参加 ・ 不参加 ←どちらかを消してください

お名前：

所属：

電話：

e-mail：

## 3. 仙台大会での幹事会・研究協議会打ち合わせ・WG打ち合わせ会場のお知らせ

下記のように会場の確保ができました。ご関係の皆さまには、ご参集お願いいたします。

### 1) 住宅の地方性小委員会・幹事会

8/26 12:00～14:00 東北学院大学3号館 31B室

幹事の皆さまには別途ご案内します。14時まではかからない予定です。

### 2) 住まい・まちづくり学習WG・打ち合わせ

8/26 14:00～17:00 東北学院大学3号館 31B室

### 3) 研究協議会打ち合わせ

8/27 11:00～13:30 東北学院大学3号館 31F室

ご関係の皆さまには、別途ご案内します。

## 4. 長崎研究会（春の研究会）の報告

春の研究会は、鮫島和夫先生（長崎総合科学大学）にお世話いただき、5月29日～31日の2泊3日の日程で行われました。たいへん魅力的な企画に、長崎総合技術大学の学生も含めて30名が参加しました。好天に恵まれ、軍艦島上陸も無事はたすことができました。長崎の町を満喫するとともに、長崎の語り部とも呼べそうな鮫島先生のおもてなしに満たされた研究会でした。

以下は、長崎研究会の概要報告です（文責 確田）。なお、軍艦島の写真については、眞嶋二郎先生と菊地吉信先生にご提供いただきました。

## 5月29日(13:30～18:00) 見学会

テーマ1「斜面居住地再生を垂直移動手段の充実と協働的住まいづくりで図る」

鮫島先生のご案内のもと、市街電車の乗り継ぎと徒歩で、下記を見学しました。

①長崎県営本原すこやか住宅(高齢者コレクティブハウジング)

長崎県初の試みとして、高齢者向けコレクティブハウジング棟(14戸)と一般世帯向け住宅棟(14戸)を配置した団地。2001年入居開始。

②本原団地と大橋団地を外から視察

③三芳シルバーハウジング見学

長崎県で初のシルバーハウジング。特定公共賃貸住宅、一般公営住宅、シルバーハウジング(29戸)及びデイサービスセンターを併せ持つ複合的施設。1998年竣工。

④斜行エレベーター・垂直エレベーター(長崎市道)

⑤コーハウス南山手(3軒のコーポラティブ住宅)

斜行EVと垂直EVを乗り継ぎ、斜面地の景色を堪能したあと、「長崎にコーポラティブ住宅をつくる会」第1号プロジェクトを見学。3軒のうち1軒が鮫島邸。鮫島邸1階の図書室は、自治会の会合や子どもたちが立ち寄る場になるなど、地域に開かれた空間になっている。

⑥懇親会は、新地中華街のJALシティホテルの中華料理「桃苑」で、長崎の中華料理に舌鼓。



斜行エレベーター



垂直エレベーター



斜面地に建つコーハウス南山手

5月30日(9:00~12:30) 軍艦島見学

テーマ2「日本最初の超高密集合住宅(RC造)の遺構である端島(通称「軍艦島」近代化産業遺産として世界遺産候補リストに登録された)について学習し、見学する」

①講話：NPO 端島(軍艦島)を世界遺産にする会理事長 坂本道德 氏

②軍艦島上陸・見学：出港から帰港まで約2~3時間、その内、上陸は1時間

19歳まで軍艦島で暮らした経験を持つ坂本氏から、1974年の炭坑閉山から無人島になって30余年が経過した端島の、かつて人々がそこに暮らした生活環境と産業遺構について解説いただいた。豊富な写真を掲載した資料として、軍艦島を世界遺産にする会、「軍艦島—住み方の記憶—」、2008年発行、2500円、が販売されています(<http://www.gunkanjima-wh.com/>)。



坂本氏の講話





写真

左上：船から撮影した軍艦島の全貌

右上：軍艦島見学の様子

左下：記念撮影

## 5月30日(14:00~17:00) 講話・研究会

### テーマ3「斜面居住地再生を、垂直移動手段の充実と協働的住まいづくりで図る」

長崎歴史文化博物館(長崎奉行所跡)の研修室にて、一日目に見学した斜面地居住地について具体的なお話を伺った。

講話1:「斜面居住地再生事業と空家対策」 長崎市まちづくり推進室

講話2:「斜面居住地の現状と協働的住まいづくりの提案」 鮫島和夫

長崎市まちづくり推進室の方からは、スライドを元にして「長崎市斜面再生のまちづくりと老朽危険家屋除去事業」について解説していただいた(報告後退席)。また、鮫島先生からは、斜面地居住での協働的住まいづくりについて、「斜面地の横道は集合住宅の廊下と捉え、斜面地住宅自体を一団の集合住宅と考えればよいのではないかと。横道=道路とすれば、二方向避難も可能」など、これまでの研究結果に基づく斜面地再生に向けての方向性を話していただいた。

講話後は、長崎歴史文化博物館を1時間ほど自由見学する時間が取られ、長崎の歴史と文化を学ぶ機会となった。その後、鮫島先生の案内で、市内に残る町家などを見学しながら、懇親会会場まで散策した。二日目の懇親会は、「山川荘」で長崎卓袱料理を堪能した。

## 5月31日(9:00~12:00)「幕末さるく」

### テーマ3「まち歩き観光「長崎さるく」を体験」

3年前実施された「長崎さるく博」は、市民がまちを案内するユニークな博覧会として好評を得た。本年は坂本龍馬をテーマとしたNHKドラマの収録が行われるとあって、「幕末さるく」が展開されている。

新地湊公園を朝9時に出発し、新地界限、唐人屋敷界限、丸山界限、オランダ坂など、鮫島先生

の銘語りとともにご案内いただいた。途中、十善寺地区にある斜面地再生事業のコミュニティ住宅の見学も入れていただくなど、非常に充実した内容の「長崎さるく」であった。



写真

左上：鮫島先生のご案内

右上：斜面地の階段

左下：十善寺地区コミュニティ住宅

—最後に—

長崎研究会では、鮫島先生ならびに長崎総合科学大学の学生さん（成田さん、徳永さん、吉村さん、伊地知さん、上田平さん）にたいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。鮫島先生の長崎の住宅やまちはもとより、長崎の歴史や文化に対する造詣の深さ、さらに長崎のまちへの愛情に感嘆した3日間でした。